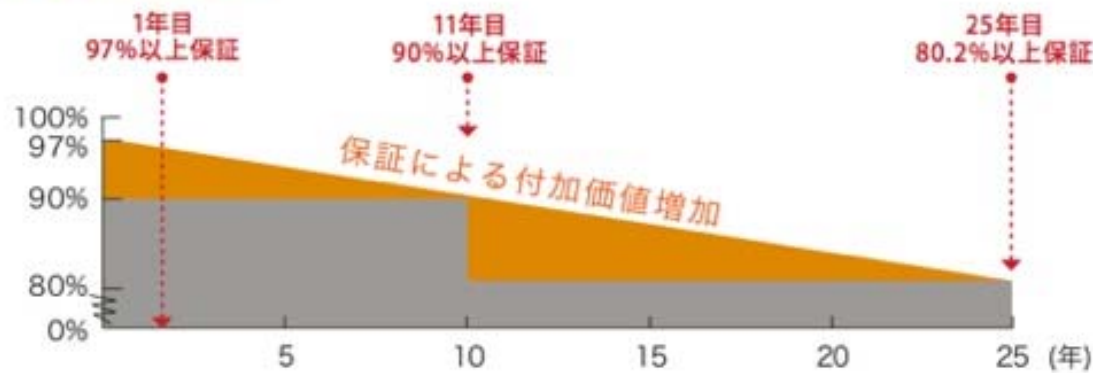


●●● 太陽光パネルの出力保証・製品保証

当社が採用したLG製パネルは25年間の出力保証、10年間の製品保証。

※ 出力保証範囲: 公称最大出力(※JIS規格)を基に設置一年目は97%以上、2年目から25年目まで毎年0.7%ずつ減少、設置11年目が90%以上、25年目が80.2%以上とします。

■ 出力保証範囲と保証年数



■ 保証値における主要メーカーとの比較

	保証値				
	1年目	2～10年目	11年目	11年～24年目	25年目
LG260S1C-G3	97%	-0.7%/年	90%	-0.7%/年	80.2%
主要国内メーカー	90%	90%	0%	0%	0%

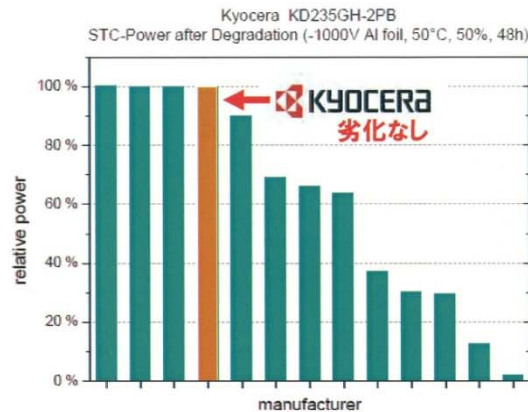
●●● ストレステストの結果

フラウンホーファー研究機構（本部＝独ミュンヘン）が欧州、北米、中国、韓国メーカーなどの太陽電池モジュール13製品について、ストレステストを行った結果、出力低下を起さなかったメーカーは、京セラ・シャープ・Qセルズ・LG電産だった。

広がるPID問題 PID(Potential Induced Degradation) = 電位差(高電圧ストレス)による性能劣化現象

SunPower製バックコンタクトタイプのモジュールで高電圧ストレスの問題があったが、NREL(国立再生可能エネルギー研究所/米国)は、通常の結晶シリコンモジュールもこの問題がある事を提示している。(文献: System Voltage Potential-Induced Degradation Mechanisms in PV Modules and Methods for Test: NREL) PV業界にとって大きな問題として注目されている。従来のIEC61215、61730では確認できない症状であり、IECのQAフォーラムでも大きく議論され始めた。

製造者	型式
カナディアンソーラー	CS6P 240P
京セラ	KD235GH-2PB
LG電子	P1C-G1 225
LUXOR	LX-250M/156-60
Qセルズ	Q.Pro-G2 230
REC	240PE
SCHOTT	Perform Poly 235
Sエナジー	SM-215 PAB
シャープ	ND R250A5
ソーラーワット	M220-60 GAT AK 245
サンテック	STP 250 S-20
トリナ	TSM-255 Plus A Honey
インリー	Panda YL265C-30b-265



左表と右グラフは順不同



太陽光発電問題

“原因不明の出力低下”に広がる波紋

海外メーカーのパネルを不安視する声

欧州最大の研究機関で50%、1000V加圧」あるFraunhoferの条件下で、出力を調べたところ、4社の多くでシニアを持つ主要な太陽光パネルメーカー13社の出力低下が確認された。これは、2014年以前から太陽パネル設置後、4年定率で出力が下がってしまう事例が報告されており、この原因不明の劣化を検証するために実施された実験に使用されたパネルは、欧州や中国中心とした13社、日本国内でも採用が進む海外メーカーの名前もあ

「原因不明の出力低下」に広がる波紋。この松田慎二氏は「日本国産品の良しあしもある中で、海外メーカーの製品が劣化しているという点に不安を感じている」と話す。太陽光発電事業は長期的な投資が必要であるという点にわたる事業です。型と語った。

平成24年8月27日付
全国賃貸住宅新聞